

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5829275号
(P5829275)

(45) 発行日 平成27年12月9日(2015. 12. 9)

(24) 登録日 平成27年10月30日(2015. 10. 30)

(51) Int. Cl. F 1
A 6 1 F 9/02 (2006.01) A 6 1 F 9/02 3 0 5

請求項の数 2 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2013-521024 (P2013-521024)	(73) 特許権者	512303116
(86) (22) 出願日	平成23年5月25日 (2011. 5. 25)		アノマリー・アクション・スポーツ・ソシ
(65) 公表番号	特表2013-533047 (P2013-533047A)		エタ・ア・レスポンサビリティ・リミタータ
(43) 公表日	平成25年8月22日 (2013. 8. 22)		ANOMALY ACTION SPOR
(86) 国際出願番号	PCT/EP2011/058541		TS S. R. L.
(87) 国際公開番号	W02012/013387		イタリア、イー・30170 メストレ (ベ
(87) 国際公開日	平成24年2月2日 (2012. 2. 2)		ネチア)、ピアレ・アンコーナ、26
審査請求日	平成26年4月14日 (2014. 4. 14)	(74) 代理人	110001195
(31) 優先権主張番号	VE2010A000046		特許業務法人深見特許事務所
(32) 優先日	平成22年7月28日 (2010. 7. 28)	(72) 発明者	サルミニ、カルロ
(33) 優先権主張国	イタリア (IT)		イタリア、イー・30170 メストレ (ベ
			ネチア)、ピアレ・アンコーナ、26、
			アノマリー・アクション・スポーツ・ソシ
			エタ・ア・レスポンサビリティ・リミタータ
			内
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 二重レンズスキー用ゴーグル

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

封止ガasket (14) によって接続される、2つの相互に対面するレンズ (8、10) からなる光学系を支持するための可撓性材料のフレーム (2) を含むタイプのスキー用ゴーグルであって、封止ガasket (14) は前記レンズとともに空気チャンバ (12) を形成し、ガasket (14) は、空気チャンバを外部に接続し、空気に対しては透過性があるが水に対しては透過性がない膜 (16) を収容する少なくとも1つの穴を設けられ、ガasket (14) は、前記膜 (16) を充填され、少なくともチャンネル (20) を介して外部と通じる円筒状座部を形成するという点において特徴づけられる、スキー用ゴーグル。

【請求項 2】

前記膜 (16) は空気に対しては透過性があるが水に対しては透過性がない微孔フィルタからなる、請求項 1 に記載のスキー用ゴーグル。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は二重レンズスキー用ゴーグルに関する。

【背景技術】

【0002】

スキーヤーの顔に適合し、有色または無色のレンズを支持する可撓性ゴムフレームから

なるスキー用ゴーグルが公知である。

【0003】

非常に寒冷な気候において用いられる場合、特にスキーヤーが休息しているとき、レンズは、使用中のスキーヤーの身体温度または呼吸温度の結果、曇る傾向がある。

【0004】

レンズが曇るのを防ぐために、以下のことが公知である：

ーレンズ内側表面に曇り防止化学処理を施すか、または、
ー互いに対面し、周縁でガスケットによってつながれて、間に断熱層として働く内側空間を形成する内側レンズおよび外側レンズを、光学系に設ける。

【0005】

これらの曇り防止処理は長所と短所を呈する。

化学処理が曇り防止効果を生じさせるのは、レンズが約0℃以上の表面温度を有するときであるが、表面温度が0℃以下に下がる環境においては十分に効果的ではなく、なぜならば、曇りが水滴を形成し、それがレンズ表面上で凍結するからである。さらに、この処理は、わずか数分の1ミリメートルの厚みを有するプラスチックの低い断熱力を考えると、どのようなレンズ温度においてもほとんど効果がない。

【0006】

光学系が、2つの平坦な（または顔の輪郭に従うよう湾曲した）レンズ、および内部の断熱空間を含む場合、レンズは、ゴーグルを断熱するのにより効果的であり、したがって、レンズは、極度の発汗または非常に低い温度のようなより厳しい状況においてのみ曇る。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

しかしながら、これらのレンズは、下降中の気圧変化または温度変化による2つのレンズ間の内部空間内の圧力変動によって変形し、視野が歪められるという欠点を有する。たとえば、レンズ系が、十分に封止された内部空間をともなって用いられる場合、圧力差がレンズの内側と外側との間に生じ、それは、レンズを全体的に圧縮変形させ、視野を歪める。

【0008】

この欠点を回避するために、2つのレンズの一方（内側）に穿孔し、この穴に、空気に対しては透過性があるが水に対しては透過性がない仕切りを適用することが提案されている。

【0009】

しかしながら、この解決策は、ある欠点、特に以下の欠点を有する：

ーコスト増をとともなう困難な機械加工、
ークリーニング中におけるゴーグル仕切りに対する損傷の可能性、
ー視野内に仕切りをとともなう穴の存在によるスキーヤーの不快感、
ー仕切りを挿入するために形成された穴によるレンズ歪。

【課題を解決するための手段】

【0010】

これらの欠点は、すべて、この発明に従って請求項1に記載されるスキー用ゴーグルによって取り除かれる。

【0011】

この発明は、添付の図面を参照してさらに以下に明確にされる。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】この発明に従うスキー用ゴーグルの対の正面図を示す。

【図2】ガスケットによってつながれた、2つの重ねられたレンズを示す詳細な平面図である。

10

20

30

40

50

【図 3】図 2 の線 I I I - I I I を通る断面図である。

【図 4】図 2 の線 I V - I V を通る断面図である。

【図 5】図 2 の線 I V - I V を通る変形例の断面図を示す。

【図 6】異なる方式を用いる、2 つの重ねられたレンズの平面図である。

【図 7】図 6 の線 V I I - V I I を通る断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

図から理解することができるように、この発明に従う二重レンズゴーグルは、マスク要素 2、マスク要素 2 に接続された弾性ストラップ 4、およびマスク要素 2 に取り外し可能に固定されたレンズ系 6 を含む。

10

【0014】

マスク要素 2 は、ポリウレタンゴムのような軟質材料から形成され、レンズ系の挿入のための周縁座部を含む。

【0015】

レンズ系は内側レンズ 8 および外側レンズ 10 を含み、それらは透明なプラスチック製で、平坦または湾曲し得、特定の内部空間 12 が 2 つのレンズ間に形成される。内部空間は断熱層として働く。

【0016】

2 つのレンズは、ネオプレンガスケット 14 によって接続されるが（図 2）、それは、ある点で、好ましくはマスク要素の下部で、座部を呈し、それに、空気に対しては透過性があるが水に対しては透過性がない特性を有する膜 16 が挿入される（図 4）。

20

【0017】

この種の膜は、GORE-TEX（登録商標）ファブリックのような、空気に対しては透過性があるが水に対しては透過性がない微孔フィルタからなる。

【0018】

ある変形例では、ガスケット部分 14 が完全に膜 16 の層と置き換えられる（図 5）。

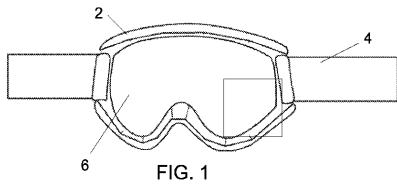
図 6 において示される実施例では、ガスケット 14 は、前述のタイプの膜 16 を充填された円筒形チャンバを規定するリング 18 を形成する。

【0019】

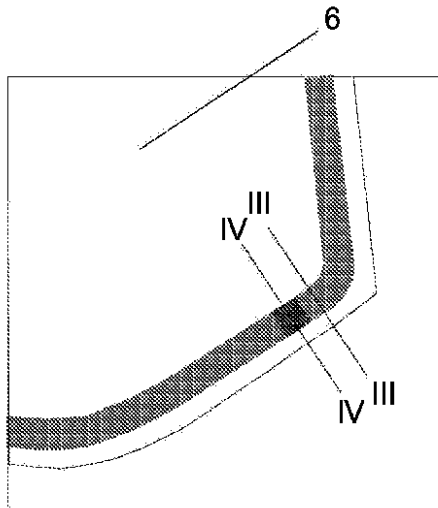
空気が、このチャンバを占める膜を通過することを可能にするために、レンズ 8 および 10 をつなぐガスケットに、切込み 20 を設けることができる。

30

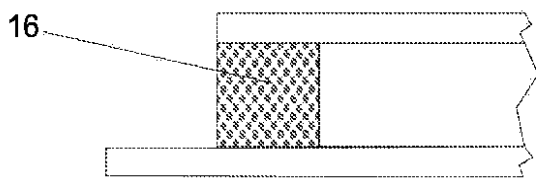
【図 1】



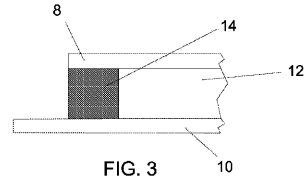
【図 2】



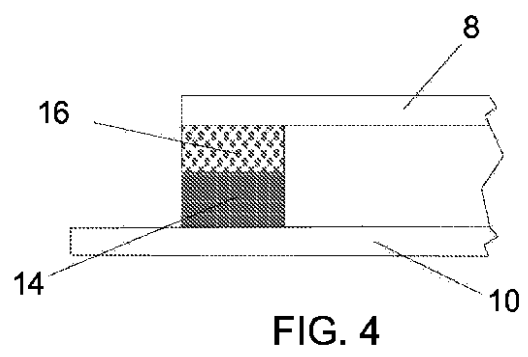
【図 5】



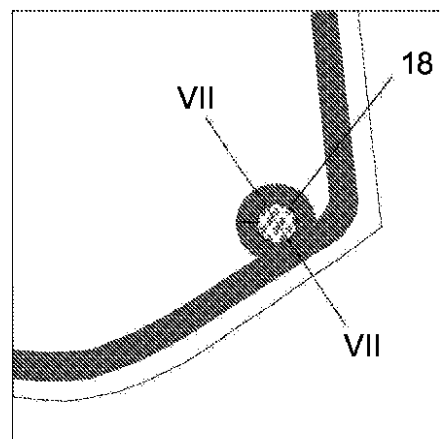
【図 3】



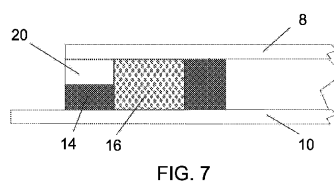
【図 4】



【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

審査官 寺澤 忠司

- (56)参考文献 特開2009-082641 (JP, A)
特公昭59-047283 (JP, B2)
米国特許出願公開第2009/0100577 (US, A1)
米国特許出願公開第2007/0169252 (US, A1)
国際公開第2009/092043 (WO, A1)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A61F 9/02